

# 愚直経営通信

皆様の周りにこの通信が役立ちそうな方がいらっしゃればご紹介頂ければ幸いです。

2024年1月

## 今年のテーマ「唯一無二のストーリー」

### 唯一無二のストーリー

新年あけましておめでとうございます。  
私は仕事をする際に、「その会社とそこで働く人が少しでも成長発展して貰えれば、そして笑顔が増えれば」と思って取り組んでいます。偽善かもしれませんが、成長と発展がお客様の経営者から社員まで、そして私自身の精神的かつ経済的な幸福に繋がると考えているからです。

幸福と言っても何を幸福と感じるかは人それぞれで、絶対的な正解はありません。それぞれの価値観や考え方に従って行動し、それが成功と言えるものではなかったとしても、山あり谷あり紆余曲折があり結果として唯一無二のストーリーが出来ればそこに価値があるのだと思います。

吉田松陰の留魂録にこんな一説があります。「人の寿命には定まりがない。農事が四季を巡って営まれるようなものではないのだ。しかし人間にもそれに相応しい春夏秋冬があると云えるだろう。十歳にして死ぬ者には、その十歳の中に自ずから四季がある。

### 目次

1. 唯一無二のストーリー
2. ストーリーのカ
3. i・PLACE開発ストーリー
4. i・PLACEご利用者の声
5. 偉大な先輩・横尾忠則さん

二十歳には自ずから二十歳の四季が、三十歳には自ずから三十歳の四季が、五十、百歳にも自ずから四季がある。(中略)もし同志の諸君の中に、私のささやかな真心を憐れみ、それを受け継いでやろうという人がいるなら、それはまかれた種子が絶えずに、穀物が年々実っていくのと同じで、収穫のあった年に恥じないことになるであろう。同志諸君よ、このことをよく考えて欲しい。」

吉田松陰の言葉を私なりに解釈すると、人それぞれに仕事や人生における唯一無二のストーリーを作って欲しいということだと思います。

今回は「ストーリー」をテーマに考えてみたいと思います。



### 【 ミッション 】

私は愚直な社長の参謀として、人と会社の持ち味を孵化させ、胸を張って行動できるよう背中を押します。

三村邦久



## ストーリーの力

### ストーリーとは

我々の生活には、映画やドラマは必要不可欠な存在になっています。ネット配信サービスも人気で、私も家族として4つほどの契約をして、毎日のように視聴しています。映画やドラマだけでなく、スポーツのライブ配信も楽しみにしています。なぜネット配信サービスを利用するかというと、広告という邪魔が入らずストレスが少なく、タイパ（タイムパフォーマンス）も良いということもありますが、いつでも世界の沢山のストーリーに接することができるということに他なりません。

#### ◆ストーリーとは

- 1) いつ、どこで、誰が
- 2) 比喩、逸話
- 3) 千の言葉より1枚の絵を
- 4) 論理に、情緒的・感覚的な描写を加える
- 5) 究極の真理が含まれる

### ストーリーの力

ストーリーの力について ChatGPT に尋ねてみるとこんな答えが返ってきました。

ストーリーは、人間の文化やコミュニケーションにおいて非常に強力な影響を持っています。ストーリーは情報を伝えるだけでなく、感情や経験を共有し、人々を結びつける力があります。

#### 1) 共感と理解の促進

ストーリーは登場人物や状況を通じて感情や経験を伝えることができます。これにより、他者の立場や視点を理解しやすくなり、共感を生み出します。共感はコミュニケーションや協力の基盤となります。

#### 2) 記憶への影響

良いストーリーテリングは、情報をより長く記憶させる効果があります。人間は物語を通じて情報をより容易に覚えることができます。これは、学習や伝達の際に非常に有益です。

#### 3) 影響力の拡大

強力なストーリーは人々を感動させ、行動を促すことができます。歴史的な変革や社会的な動きは、しばしば力強いストーリーに基づいています。政治的な演説や広告、教育的なコンテンツなど、様々な文脈でストーリーは影響を發揮します。

#### 4) 文化の形成

ある社会やグループのストーリーはその文化を形成し、共有された価値観や信念を定義します。伝説や神話、文学作品は文化的アイデンティティの一環となり、共同体を結びつけます。

#### 5) 創造性の促進

ストーリーテリングは創造性を刺激し、新しいアイデアや視点を生み出す助けになります。想像力をかきたて、問題解決や革新の源となります。

#### ◆ストーリーの影響力

- 1) 論破、強制ではない
- 2) 新しい視点、文脈、考え方を与える  
人のストーリーを変えれば、行動は変わる  
新しいOSをインストールする
- 3) 同じ思考プロセスに参加させ、  
意志と知恵に基づく選択を促す

### 未来へのストーリーを語る

仕事をする上で人を動かすことは重要なことで、特にリーダーにとってはメンバーに未来への希望を与えることは特に大切です。未来へのストーリーを語ることは、要点のみを伝える場合に比べ、少し時間はかかったとしても、感情を揺さぶり、相手の記憶に深く刻まれ、その人の判断基準や行動基準となって強力なパワーを發揮することになります。

情熱を持って未来へのストーリーを語る。こんな観点から自分のリーダーシップのあり方を見直してみてもはどうでしょうか。



## i・PLACE 開発ストーリー

「i・PLACE (アイプレイス)」は、2024 年 1 月でサービス開始 3 周年を迎えます。

i・PLACE は、孔子の論語、孫子の兵法、老子を含む中国古典の智慧を取り入れた人材育成プログラムで、企業や組織の成長に必要なリーダーシップの向上、人の持ち味の活用、戦略的思考の強化などの知識とスキルを養成します。

オンラインプラットフォームを活用することで、24 時間世界中のどこからでも参加が可能となり、成長意欲の高い経営者、管理職、そして次世代のリーダーが共に学び合える場を提供しています。

経営コンサルティング歴 35 年の経験と中国古典から生まれた発想

i・PLACE を開発した株式会社アイパーナー代表である三村邦久は、27 歳で中小企業診断士の資格を取得し経営コンサルタントの道に飛び込みました。主なクライアントである中小・中堅企業の大半はオーナー経営者で、欧米の流行の経営理論より実践的なノウハウを求めます。また、中小中堅企業は大手企業のようなブランド力や組織力もなく、経営者の人間力によって成り立っていると言っても過言ではありません。

三村自身も 2001 年 1 月に 39 歳で創業し、七転八倒しながら今日に至ります。特に 2008 年のリーマンショックの際にはクライアント共々厳しい状況に置かれ、マインドのリセット、苦境を乗り越える強い心が求められました。その時に薫にも縋る思いで学んだのが中国古典で、以来「背中を押してくれるメンター」となっています。

きっかけはコロナによるサービス提供方法の転換

2020 年春頃コロナ禍で対面でのコンサルティングや研修の実施が難しくなり、サービスの提供方法の転換を求められました。知人の助言もあり動画制作とオンラインでの視聴サービスの構築に着手し、2021 年 1 月よりサービスの提供を開始しました。

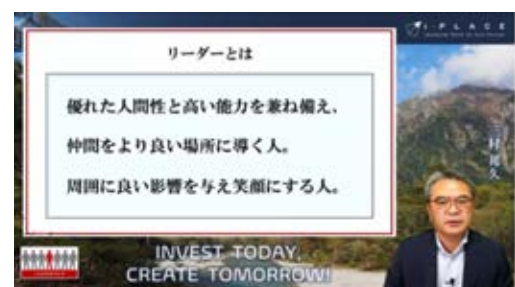
e ラーニングが脚光を浴びる中、i・PLACE は逆張りの戦略で、他のサービスのよう流行のコンテンツや数の多さを追わず、受講者が生涯使えるコンテンツを厳選しました。「ここさえ抑えていけば大丈夫！」と胸を張れるオールインワンのコンテンツ作りを目指しました。特に、三村自身が中国古典の教えに支えられ苦境を乗り越え、胸を張って仕事ができるようになった経験をベースにしました。

常々自分以外にも中国古典が役立つ人が世の中には大勢おられると考えてきましたので、今まで中国古典に接することがなかった人にも広く知ってもらいたいと思っています。

スモールスタートできるビジネスモデルの創造

オンラインと一言で言っても様々な形態がありますが、当初は一般的な対面型研修をオンラインで行う方式を考えました。この方式はスクリーンから受講者に講義を行い、演習の指示をするというものです。これでは講師と受講者が分断され、受講者に密着した指導ができず研修効果が半減します。また、これまでの研修同様に講師の話を通り返し聞くことができないという問題が残ります。そこで、これまでの研修スタイルを捨てて、いつでもどこでも手軽に繰り返し学べる様に、オンデマンド方式で視聴可能な動画を作ることしました。

また動画収録や編集も専門家を使うと時間とコストが多くなり、スモールビジネスとしてスタートさせることが難しくなります。そこで IT に詳しい知人の力を借りて、動画収録用の機器や録画ソフト、e ラーニング専用クラウドシステムの選定など、試行錯誤を繰り返し独自のオンラインモデルを作り上げました。



## 温故知新・和魂洋才の教育コンテンツ

巷には掃いて捨てるほど、オンラインの教育コンテンツがあります。同じ土俵に上がっても勝ち目はありません。そこで流行を追うのではなく三村が10年以上学び続けている中国古典を題材にした10分動画を作ることからスタートしました。



中国古典というと難しいとか古臭いとか思っている人も少なくありませんが、紀元前221年に秦の始皇帝が中国を統一するまで約500年に渡る春秋戦国時代に生まれた思想哲学の体系です。人心を纏め強い国を作るためのリーダーのあり方を説いたものです。江戸から明治への大きな時代の変革期を主導した幕末の志士たちの精神力を養ったのは四書五経と言われる中国古典でした。中国古典は時代を超えても役立つ普遍的な真理を説いたリーダーの教科書なのです。



リーダーシップのベースとなる人間性や人格を磨くには中国古典が有効です。加えて、視野を広げ人間的魅力を生み出す教養（リベラルアーツ）を身につけるために、株式会社情報工場様と提携し、書籍ダイジェストサービス・セレンディップを取り入れました。最新の書籍情報と中国古典とで温故知新の学びの場を整えました。

更に、リーダーに必要な信頼やコミュニケーションスキルの習得、論理的な問題解決や戦略構築力の習得、人の持ち味を引き出す方法など、欧米の手法も取り入れた和魂洋才の教育コンテンツを整えました。

## 質の高い研修を可能にしたオンラインと対面式のハイブリッド型教育モデル

オンライン（オンデマンド型）の教材は、いつでもどこでも自由に学ぶことが最大のメリットではありますが、知識を修得したり、中国古典を読み自己啓発をすることには適しています。しかし、仕事に必要な実践スキルは、実際にやってみて試行錯誤を繰り返しながら身につけていく必要があります。また、他の人の意見を聞いたり討議するプロセスを通じて、気づきを得たり刺激を受けて発憤し成長が加速されます。これは従来の対面方式の研修に勝るものではありません。



そこで、i・PLACEでは知識の習得と自己啓発、予習復習はオンラインで行い。切磋琢磨する実践トレーニングは対面のワークショップ型研修で行い、頭と体の両面から学んでいきます。

i・PLACEのオンラインコンテンツを使ったワークショップ型研修は現管理職若手リーダーを対象にした「リーダー研修」と次の時代の経営幹部を養成する「経営リーダー研修」の二本柱となっています。

### (1)若手リーダー研修

i・PLACEリーダー（動画12編）を教材とし、リーダーの心構えを学びスキルを磨くことに焦点を当てた3回から6回の継続型の研修です。

### (2)経営リーダー研修

i・PLACE上級（リーダー、論理、持ち味の動画12編）を教材とし、経営者脳の開発、会社のビジョンと戦略を作り、リーダーシップのグレードアップに焦点を当てた6回から10回の継続型の研修です。管理者から脱却して本物のリーダーへの転換を促し、次世代を担う経営チームを養成していきます。

## 経営ニーズに合わせたサービス提供

我々がどんな思いを持っていたとしても、その真意を理解して貰ったり、どんな効果が期待できるかを理解してもらうことはそう簡単ではありません。そこで経営者の願望や会社の抱えている問題を理解した上でご提案してきました。

導入例①「経営陣や管理職の人間力を高めたい！」との問題意識を持たれた会社は、中国古典の動画に興味を持たれ **i・PLACE** を採用してくださいました。

導入例②「人材の育つ魅力ある会社づくり」を経営戦略に掲げ、人手不足に負けない会社を作りたいとの思いを持たれている会社には、**i・PLACE** を使った若手リーダー研修を導入いただきました。

導入例③「企業文化の変革」という課題を持たれた会社では、企業文化変革のコンサルティングに続き、持続的な人材育成を経営方針に掲げ **i・PLACE** を使った「リーダー研修」と「経営リーダー研修」を採用して頂きました。

**i・PLACE** はコンパクトながら普遍的な原理原則を押さえた内容になっているので、それぞれの会社の経営ニーズに合った形をご利用頂ければと考えています。

## 中小・中堅企業にマッチした教育システムだからこそ成果が出る

オンラインでの学習や対面での研修は、会社の成長から見ると点の活動に過ぎません。点を線に線を面にし、持続的に会社を成長させていく工夫が必要です。そのために、研修では一気に詰め込まず、テーマを区切ってインターバル方式で一つ一つマスターしていきます。そして研修の冒頭で学びの実践状況の振り返りを行います。研修受講者は職場での実践状況を定期的に報告することで、刺激し合い良いやり方を横展開していきます。

若手リーダー研修 2 期以降での講師（ファシリテーター）は管理職と 1 期生が務めるなど、学ぶ側から教える側に回ることで更に成長を促していきます。また、エンゲージメントや心理的安全性に関する「職場の健康診断」を定期的実施し、

リーダーシップや職場の成長度をモニタリングし、学びの効果を把握できるようにしました。

このような組織ぐるみの取り組みは、社員数が少ない中小・中堅企業であるからこそ実現できるのです。

## i・PLACE が目指すこれからの取り組み

中国古典を学び続けて最近わかってきたことは、中国古典の根底には幸福（Well-being）の哲学が流れているということです。論語の冒頭文「学びて時に之を習う。亦説（よろこ）ばしからずや。朋有り（ともあり）、遠方より来る。亦楽しからずや。人知らずして慍（いきど）おらず、亦君子ならずや。」には、学び成長する喜び、同志と語らう楽しさ、移ろいやすい人の評価に右往左往しない泰然自若とした立派な人物の有り様が表現されています。



人間性（徳）を高め立派な人間を目指すことで、いい人間関係を作り、いい仕事、いい人生を手に入れることができる。そして仲間の笑顔のために働くからこそ素晴らしいリーダーシップが発揮できる。中国古典はこんな幸福を追求する思想哲学であるからこそ、2000 年を超える永い年月を経ても読み続けられているのだと思います。

温故知新・和魂洋才の学びの場を活用頂いて、一人でも多くの方が胸を張って堂々と仕事に取り組めるようになればこんな嬉しいことはありません。

## 【商品情報・プロジェクト情報 URL】

### i・PLACE 概要

<https://www.i-partner.co.jp/iplace.html>

中国古典は私のメンター

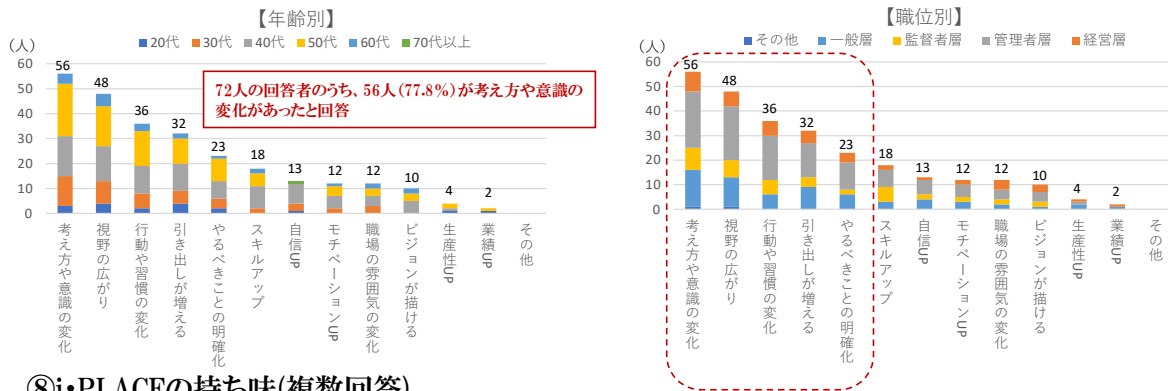
[https://www.i-partner.co.jp/news\\_45.html](https://www.i-partner.co.jp/news_45.html)

導入事例・ご利用者の声

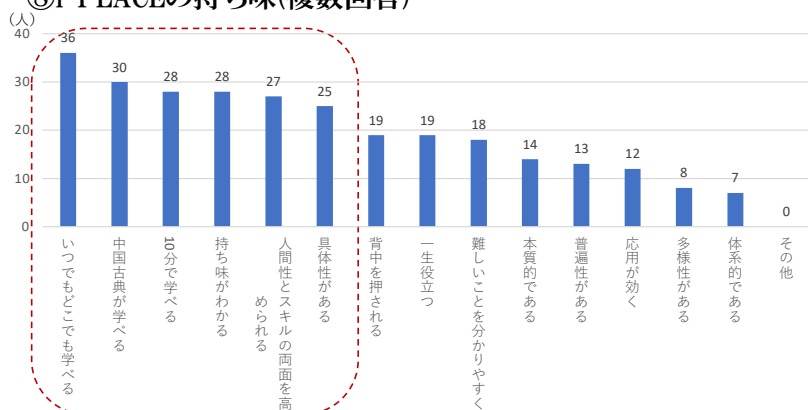
[https://www.i-partner.co.jp/iplace\\_ex.html](https://www.i-partner.co.jp/iplace_ex.html)

# i・PLACE ご利用者の声レポート (抜粋)

## ⑦ご利用による効果(複数回答)



## ⑧i・PLACEの持ち味(複数回答)



視野が広がり、考え方・意識が変わり、やるべきことが明確化し、行動や習慣までが変わり始めていることが窺える。

## 私の i・PLACE 活用法 <経営層の事例>

職位	経営層	経営層	経営層	経営層
年齢	60代	60代	50代	50代
ご利用の「場」や「コース」	メンターとしての中国古典論理	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) 持ち味リーダー	メンターとしての中国古典リーダー 持ち味論理	メンターとしての中国古典
ご利用の背景や目的	運営側としてのニーズもあるが、個人的に論語等に興味あり。	自己及び会社の変革と成長のため。	経営層がチームとして一枚岩となる。次の100年へ、会社としてチャレンジしていくことの風土創り、人材創りを目的とするそれぞれの持ち味をベースに、自らの変革実践を以て、周りへの好影響を引き出し、人格と文化を経営のコアに据え、社会貢献していくことに挑戦し続ける。	中国古典に興味があり、学び直したいという思いから受講継続中。
役立っているテーマや印象に残ったフレーズ	自らが繰り返し行うことが、われわれの本質である。ゆえに、優秀さは行為でなく習慣である (アリストテレス)	「五常の徳」、「上善は水の如し」、「遠きはかる」、「リーダーとは (一部を抜粋) 仲間をより良い場所に導く人」、「持ち味を活かす」、「改めて」 「奮直進前」	勉強させて頂く過程で、小職が目指したいと思う商社イメージ。 ・伝統の中に、誇らしく並び立つ3部門。 ・同じ夢の中に、ほがらかに競い合う3部門。未来に向けて、にこやかに挑戦する野村貿易。	毎回、新鮮な気持ちで視聴出来る。好きなフレーズについては沢山ありすぎて、選ぶのが難しいです。
利用による効果	引き出しが増える ビジョンが描ける 視野の広がり 考え方や意識の変化 モチベーションUP 行動や習慣の変化 職場の雰囲気の変化	考え方や意識の変化 行動や習慣の変化 スキルアップ 職場の雰囲気の変化 ビジョンが描ける 視野の広がり	考え方や意識の変化 やるべきことの明確化 職場の雰囲気の変化	視野の広がり 引き出しが増える 考え方や意識の変化 行動や習慣の変化
ご利用による効果や成果の具体的な内容	アイブレイスは自己研鑽を求める人にとっては大変貴重なツールである。	会社においては「人を活かす」ことが最も重要であること。また経営層・管理職層・一般社員の階層別に相応しいスキルと「人間性(徳)」の両面をバランス良く高めていかなければならないこと再認識しました。	「収益やお金」から、一旦離れて、本質的な価値を、恥ずかしがらずに考える機会を得た。 笑顔や、雰囲気を良くする事を、より意識して生活するように努めている。 おかげで、職場や家庭にて、小職に意見や文句を言ってくれる人が増えた。からかわれる機会が増えた。	中国古典を受講しています。勉強して良かったで終わらずに、具体的に活用できる状況を頭に描くことで、応用して考え行動するよう心がけています。また、スピーチのネタとしても引用しています。

## 私の i・PLACE 活用法 &lt;管理者層 40代の事例&gt;

職位 年齢	管理者層 40代	管理者層 40代	管理者層 40代	管理者層 40代	管理者層 40代
ご利用の「場」や「コース」	メンターとしての中国古典リーダー	書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 論理	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 中国古典の眼	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 持ち味 論理 中国古典の眼	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場)
ご利用の背景や目的	リーダー研修の復習 中国古典に触れ、自分を戒める	一昨年、会社の方で、リーダー研修を準備頂き受講させて頂きました。昨年度は講師として、2期目の参加をさせて頂きました。この2年で時短以外の営業部の中堅スタッフは、全員受講しており、職場の雰囲気も更に明るく、前向きになって来ている様に感じております。	人間としての成長につなげたい。	中国古典や良書に触れることで、より一層広い視野と高い視座を養い、自身の成長および組織へのよい影響を与えるため	自身の考え方の比較の為
役立っているテーマや印象に残ったフレーズ	承認、PREP、ロジックツリー、明確さは力なり、iメッセージ、人を笑顔に、ファシリテーション、聞い  五常の徳、四端の心、徳は本なり財は末なり、戦わずして勝つ 足るを知る、ツマ立つ者は立たず、無私なる者、道(tao)	講師をしましたので、リーダー講座を繰り返し視聴、頓悟致しました。冒頭のリーダーとは「優れた人間性と高い能力を兼ね備え、仲間をより良い場所に導く人。周囲に良い影響を与え笑顔にする人」のフレーズは繰り返し聞いていてと頭の中に残りました。	上善水のごとし。水は争うことなく、他と交わり、下へ下へと向かう謙虚さがある。一方で、岩を砕く強い力を持つ。	持ち味、遠きをはかる、鋭きこと利刃のごとし	足るを知る
利用による効果	行動や習慣の変化 引き出しが増える 自信UP	視野の広がり 考え方や意識の変化 モチベーションUP 行動や習慣の変化 自信UP 職場の雰囲気の変化	視野の広がり 行動や習慣の変化 やるべきことの明確化 引き出しが増える 自信UP 職場の雰囲気の変化 ビジョンが描ける	視野の広がり 考え方や意識の変化 引き出しが増える	考え方や意識の変化 自信UP
ご利用による効果や成果の具体的な内容	部下を指導する際の指導法の参考にさせて頂いております。自分の人間性を高める為、論議に触れるようにしていますが効果はまだわかりません	リーダーとは、仕事場で仲間より信頼を得るには、能力的信頼もさる事ながら、人間的信頼が必要であると言う事を学びました。	Team BuildingやTeam Memberの持ち味発揮・やる気促進策の参考しており、Teamの良い雰囲気づくりにつながっていると感じています。業績Upにつながりよう、引き続き参考にさせて頂いております。	自分の持ち味を活かすのと同じく、相手の持ち味を活かしていくことが重要であることを学びました	漠然と持っていた自分なりの考え方について、何故そう考えているのかという事が自分自身でも明確に整理する事が出来た

## i・PLACE 私の活用法 &lt;監督者層&amp;一般層 30代20代の事例&gt;

職位 年齢	監督者層 30代	監督者層 30代	監督者層 30代	監督者層 20代	一般層 40代
ご利用の「場」や「コース」	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 持ち味 論理 中国古典の眼	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 持ち味 論理	書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 持ち味 論理 中国古典の眼	リーダー	メンターとしての中国古典書籍ダイジェスト (SERENDIP 情報工場) リーダー 持ち味 論理 中国古典の眼
ご利用の背景や目的	リーダーとしてチームワークの向上、モチベーションアップ、コーチングの導入、コミュニケーションの大切を知る	自己の成長のため、i・PLACEを活用して知識の幅を広げ仕事等で実践する	自己の意識改革や組織改革のきっかけを得るため	自己成長のため	会社推奨にて。リーダーシップ力の養成
役立っているテーマや印象に残ったフレーズ	承認欲求 論理的思考 持ち味の発掘	上善如水、赤子の心、PREP法、君子、管理者とリーダーの違い、優先順位の付け方	持ち味を活かす 承認によるモチベーションアップ	PREP法 承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乱は治(ち)に生じ、怯(きょう)は勇に生じ、弱は強に生ず</li> <li>・兵は詭道也 誠実さが基本だが、強かさも必要</li> <li>・大人(だいじん)は、其の赤子の心を失わざる者なり。</li> <li>・孟母三遷</li> <li>・徳は本なり</li> <li>・谷のような存在 (大器)</li> <li>・上徳を徳とせず</li> <li>・組織の持ち味は何か</li> </ul>
利用による効果	考え方や意識の変化 行動や習慣の変化 やるべきことの明確化 引き出しが増える 職場の雰囲気の変化	視野の広がり 考え方や意識の変化 モチベーションUP 行動や習慣の変化 スキルアップ やるべきことの明確化 自信UP 引き出しが増える	考え方や意識の変化 行動や習慣の変化	視野の広がり 引き出しが増える	視野の広がり 考え方や意識の変化 モチベーションUP 行動や習慣の変化 スキルアップ やるべきことの明確化 引き出しが増える 自信UP 職場の雰囲気の変化 生産性UP ビジョンが描ける
ご利用による効果や成果の具体的な内容	人間性を第一に考えチームワークや部下の育成、持ち味コーチングを学び職場が明るくなった。古典を理解し自分なりのビジョンが作れた。楽しさの奥深さを知った。	行動や思考の軸がぶれてしまい、どうすれば良いかわからなくなった。中国古典やi・PLACEリーダーを通じて自分の中の行動や思考の軸が固まってきた。	自分の持ち味を把握している方は少ないと思われ。仕事に不慣れな若手は特にそうだと感じます。そういったメンバーに対して持ち味を意識させるような会話や仕事の振り方をしていけば、少しずつ自分の仕事のやり方が固まり、スピードや顧客からの信頼性などが向上すると感じました。	相手に伝わるのは良くて50%、5回同じことを言って20%の確率で行動してくれるという話が印象的で役に立ちそうな考え方だと思った。	仕事での判断において、一段高い視座で考えることが出来るようになった。

## 編集後記 偉大な先輩・横尾忠則さん

## 高校の先輩・横尾忠則さん

私は兵庫県立西脇高校の出身で、偉大な先輩として横尾忠則さんがおられます。横尾さんは1936年生まれ、20歳まで兵庫県多可郡西脇町（現在の西脇市）で過ごし、神戸新聞社にてグラフィックデザイナーとして活動後、独立されました。その後世界的なグラフィックデザイナーとなりながら44歳で画家に転身されました。

まだ私が兵庫の実家にいた頃、横尾さんの作品が展示されている西脇市の岡之山美術館（東経135度と北緯35度の交点にあたる「日本へそ公園」内）に行くと、横尾さんが5歳の時に描かれた「巖流島の決闘」を見て、5歳とは到底思えぬ繊細さに度肝を抜かれたのを今も覚えています。

## 「寒山百得」展へ

11月末、上野の国立博物館で開催された横尾さんの作品102点を集めた「横尾忠則 寒山百得」展に行ってきました。



伝統的画題として知られる中国の風狂の僧「寒山拾得」をモチーフとしたシリーズが公開されました。



寒山（かんざん）と拾得（じっとく）は、中国・唐時代に生きたとされる伝説的な二人の詩僧です。高い教養を持つ文人にもかかわらず洞窟の中に住み、残飯で腹を満たし、常軌を逸した発言をするなど、奇行が目立つ自由でエキセントリックな存在として知られています。中国禅宗においてはその脱俗の姿や振る舞いが悟りの境地であるとしてもはやされ、寒山は文殊菩薩、拾得は普賢菩薩の化身であると神聖視されるようになります。

中国や鎌倉時代以降の日本で、寒山拾得は伝統的な画題として多くの禅僧や文人たちによって描かれ、近代では森鴎外や夏目漱石の小説でも憧れをもって取り上げられてきました。



## 老いと創造

横尾さんの書籍「老いと創造」も秀逸です。朦朧人生相談というサブタイトルで様々な疑問や悩みにも回答する形式になっています。

例えば、「定年後、居場所がなくなるのが怖いのですが。」

「孤独が怖いです。どうすれば良いでしょうか。」「老いてなお、楽しく生きる方法を教えてください。」「自分の薄っぺらさに気づかれるのが怖くて意見が言えません。」など様々な問いに「なるほど!」と思う回答をされており、人生の達人なのだと感銘を受けます。



創造性と孤独は切り離せないものである。孤独を友とし、孤独を楽しむ。そんな考え方は芸術分野における創作活動でなくても、我々の仕事や人生にも通ずるところがあると思います。

また、各問答に横尾さんの50作品が掲載されており、絵やデザインを見ていると横尾さんの心の中が少し垣間見られるように思います。そして田舎の風景や私の通った小学校の校歌にも使われている「杉原川」（加古川の源流）なども登場し、私の子供の頃の思い出と重複する部分が多く心が繋がっているように感じます。

偉大な先輩・横尾さんを私の新たなメンターとして、背中を押されながら前に進みたいと思います。